

令和6年度議会報告会(意見交換会)における発言内容報告書

開催地区:作手 地区 開催日時:令和6年10月30 日(水) 午後7時00分 ~ 午後9時02分 開催場所:つくで交流館 担当議員:6名 (氏名:竹下修平、中西宏彰、柴田賢治郎、佐宗龍俊、齊藤竜也、今泉吉孝) 参加人数:男性 19名、女性 7名 計26名	報告者
	柴田賢治郎

分類:●議会に関するもの ○市政に関するもの 対応:①回答(処理)済 ②聞き置いた事項(含む情報提供)

No.	市民の発言内容	議会(議員)の発言内容	対 応			キーワード
			分類	番号	担当	
1	鳥獣被害の対策は、国の支援金は7千円のところ、市の負担金は千円、現場の状況も反映出来ていないので検証してほしい。他自治体ではキャンペーンもやっているが、当市では出来ていない。捕獲圧力を強める施策をお願いしたい。	各担当課と勉強会を始めた。今後サポート出来るように提案していく。	○	①	竹下修平	鳥獣害対策
2	徳島県神山町での「移住交流事業とサテライトオフィス」の視察について伺う。当市への反映は。	都会に所在する事業者が従業員の多様な暮らしの実現をサポートするために、サテライトオフィスが注目されている。今後、新城に誘致したい。	●○	①	竹下修平	委員会行政視察 まちづくり
3	公民連携によるまちづくりの視察について	状況が違うので反映できるものではないが、当該事業は個人のリーダーシップをもとに成り立っていた。	●○	①	齋藤竜也	委員会行政視察 まちづくり
4	行政が地域自治区制度の活用が出来ていない。(地域にとっては重要だが、行政との距離感を感じる)自治区制度をどの様に活用するか知りたい。	ご意見として承る。10年の節目であるが、横展開が出来ていない。行政と一緒に考えていきたい。	○	②	佐宗龍俊	地域自治区制度
5	菅守の跡地の活用、巴小学校の跡地、開成の跡地、返事が来ていない。跡地に予算はつけない旨決まったとの事。こちらからの要望もフィードバックが無い。	区長会で、素案を出す段階。市の方向性はそこで確認できるが、巴は企業が興味を持たれている。担当が変わると、今までの積み上げが崩れる。	○	①	佐宗龍俊	跡地活用
6	県道35号線、4年前の災害で通行止め。状況説明もない。3年かかって、迂回路も決壊した。市としての動きが見えない。県への働きかけも議会として出来ないのか。	守義は4年かかって、住民説明などの対応が出来てなかったことを反省する。	○	①	齋藤竜也	災害対策

No.	市民の発言内容	議会(議員)の発言内容	対 応			キーワード
			分類	番号	担当	
7	去年の大雨災害以降、林道が寸断されている。市の方で予算立ててもらわないと進まない。山に入れる整備を進めてほしい。	議会としても声を緩める事なく今後も主張していく。	○	①	佐宗龍俊	災害対策
8	301号線の改修が進んでいると思えない。市議会として推しているのか。	県に要望をより強く行っていく。市内についても同様に対応していく。	○	①	佐宗龍俊	
9	有教館高校作手校舎について20名の定員を切っているが存続に支障はないのか。	県の教育委員会にお願いに行っている。県でも再編を検討しているが、地域にサービスを残す努力は続けている。	○	①	佐宗龍俊	
10	森林環境税、県の森と緑の施策が被り、使い勝手が悪い。	引き続き勉強を重ね、精査していく。	○	①	佐宗龍俊	
11	作手の人口の減り方に不安を感じる。地域のお役も選出がままならない。市の職員についても賄えないのではないかと思う。今のうちからの対応を願う。	ご意見として承る。	○	②	佐宗龍俊	
12	給食センターの稼働後の問題点を確認したい。現在出来ている作手での地産地消が崩れるか心配。	軽微の変更はあるが対応はできている。厚生文教委員会として他地域の地産地消を確認し、当市に反映できるように議論していく中で、今回の作手での地産地消は維持していく旨を推進していきたい。	○	①	竹下修平	
13	地域のお祭りの維持。子どもの参加を維持するにも何らかの対策を必要と考える。	お祭りの集約は一つのアイデアだと思う。活かせるように引き続き精査していく。	○	①	齋藤竜也	
14	パレスチナ自治区やガザ地区の議案があるが、スケールが大きいく市への反映が感じられない。	議員提案によるもので、それぞれの提案の一つと捉えている。	●	①	佐宗龍俊	